

津軽平野の夜明け

古代中世の宗教施設と開拓

講師：弘前大学人文社会学部教授・博士（文学）
関根 達人 氏

日時：令和4年11月18日（金） 10:00～11:30

会場：青森県総合社会教育センター 第5研修室

定員：30名



乳井神社五輪塔



津軽阿闍羅山周辺の宗教遺跡より

津軽には、近年田んぼアートで有名な田舎館の垂柳遺跡や日本列島最北の水田跡として弘前市の砂沢遺跡が存在する。数少ない東北の弥生水田跡だが、比較的早くから津軽の弥生水田はよく知られていた。しかし、鎌倉時代になるまで、津軽の歴史は史書に登場することはない。現代の津軽人のルーツはどこにあるのだろう。

津軽平野は一体いつ頃からどのように開拓されていったのか。これまでほとんど解説されることのなかった、空白の津軽の歴史解明を考古学から迫る画期的な講座!!



* 当日は適切なマスク着用でご参加ください。風邪症状のある方、熱のある方は参加をお控えください。
* 検温、アルコール消毒にご協力ください。

《お申込み・お問い合わせ》

青森県総合社会教育センター あおもり県民カレッジ事務局
〒030-0111 青森市大字荒川字藤戸119-7

TEL 017-739-0900 / FAX 017-739-2570

メール: alis02@jomon.ne.jp

主催：青森県総合社会教育センター

(講座運営：指定管理者：豊かな学びを育む青い森グループ)

<https://www.manabi-aomori.com>

